

Com2uS、「サマナーズウォー」アニメーションのメイキング映像公開 &フィギュア発売決定

- Com2uS、グローバルパートナー社と共に「サマナーズウォー」IP アニメーション来年公開
- 13日「SWC」ワールド決勝でスカイバウンドとアニメーション制作過程及びコンセプトメイキング映像を初公開
- アメリカの玩具メーカーFunko社の「POP!」シリーズにて「サマナーズウォー」フィギュア4種、発売決定

モバイルゲーム企業 Com2uS は、グローバルヒット作「サマナーズウォー: Sky Arena」(以下、サマナーズウォー)を基盤としたアニメーションとフィギュアの制作過程の一部を公開しました。「サマナーズウォー」IP(知的財産権)拡張コンテンツが、世界中のファンの期待を集めています。

Com2uS は 13 日、韓国ソウルで開催された「サマナーズウォーワールドアリーナチャンピオンシップ 2018(SWC2018)」ワールド決勝で、「サマナーズウォー」アニメーション・コミックスの制作過程を紹介するドキュメンタリー映像と、新しいフィギュアの映像 2 編を初公開しました。

まず、「サマナーズウォー」アニメーション制作映像(<https://youtu.be/UhuVr7tf2r4>)は Com2uS が世界的エンターテインメント企業 Skybound Entertainment (以下、スカイバウンド)とタッグを組み、「サマナーズウォー」の世界観とストーリーテリングをもとに制作中のアニメーション・コミックス等の企画過程を紹介するメイキング映像を公開しました。

「スター・ウォーズ/クローン・ウォーズ」「アングリーバード」など世界的な映画・ゲームの原作をアニメーションとして制作してきたキャサリン・ウィンダー「サマナーズウォー」アニメーション総括プロデューサー兼スカイバウンドノース CEO は、原作に新しさを加えたユニークなビジュアルアートコンセプトを制作してみた感想と、様々なメディアミックス展開の可能性を示唆しました。

映像にはキャサリンと共に「サマナーズウォー」共同総括プロデューサーであるスカイバウンド CEO ロバート・カークマン(「ウォーキングデッド」の原作者)が登場。来年 2019 年に公開予定の短編アニメーションの中で 3D グラフィックが豪華に表現されたモンスター召喚場面の一部が公開されると、心待ちにしていたゲームファン達の熱い歓声が会場に広がりました。

さらに、アメリカの玩具メーカーFunko が制作中の「サマナーズウォー」フィギュア映像 (https://youtu.be/C_WDwlYoSUM)を公開しました。ユニークなデザインの「サマナーズウォー」フィギュアの姿が、世界中のファン達に紹介されました。ジャンヌ(光属性パラディン)、オリオン(水属性マジカルブラウニー)、カミラ(水属性ヴァルキリー)、マーブ(風属性ペンギンナイト)の計4種類のフィギュアがベールを脱ぎ、近日発売の発表に会場の期待がより一層高まりました。

今後は、Com2uS がグローバルパートナー社と共に推し進める「サマナーズウォー」IP 基盤の様々なコンテンツを楽しめる予定です。

なお、この日公開された2編の映像は、Com2uS Japan 公式 YouTube チャンネルでも視聴可能です。

[写真資料]



▲ Com2uS×スカイバウンド、「サマナーズウォー」IP アニメーション公開映像



▲ Com2uS×スカイバウンド、「サマナーズウォー」IP アニメーション公開映像(代表イメージ)



▲ Com2uS×Funko、「サマナーズウォー」フィギュア画像
(左から)ジャンヌ、オリオン、カミラ、マーブ